

## 道内の木材市況概況(令和3年1月)

[主要品目の価格動向]

区分	樹種	形量・品等	仕切場所	全道価格	前月差 (前期差)	市況の動向	
素材	トドマツ	径30～38cm 長3.65m 品等込	工場着	12,600	0	(道産材) ・エゾ・トド原木は、大雪の影響などにより山からの出材量は少なめだが、概ね順調な集荷となっている。市況は弱保合～保合。 ・カラマツ原木は、大雪の影響などから入荷量は少なめで、一部の工場では不足感がみられる。市況は弱保合～保合。 ・広葉樹原木は、樹種により、弱含み～強保合。  (外国産材) ・米材丸太の12月の輸入量は0千 <sup>m</sup> (前月0千 <sup>m</sup> ・前年同月6千 <sup>m</sup> )。12月末港頭在荷量は4千 <sup>m</sup> (前月比75%・前年同月比32%)。	
	カラマツ	径14～18cm 長3.65m 品等込	工場着	9,300	△ 100		
	カラマツ	径20～28cm 長3.65m 品等込	工場着	10,600	0		
	*エゾマツ	径30～38cm 長3.65m 品等込	工場着	13,100	0		
	*ナラ	径30～38cm 長2.4m 上品等3等	工場着	26,600	1,400		
	スプルース(米材)	径30cm上 長込 品等込	港頭オントラ	20,700	0		
製材	エゾ・トド	厚10.5cm×幅10.5cm 長3.65m 甲Ⅱ-2級	工場渡	55,900	0	(道産材) ・エゾ・トド製材は、建築材の受注状況に勢いはなく、荷動きは弱い状況のまま横ばい。市況は保合。 ・カラマツの梱包材・パレットは、取引先の違いなどで受注状況に差はあるものの、例年に比べ低調な荷動きが続いている。市況は保合。 (住宅着工戸数) ・12月の新設住宅着工戸数は前年同月比96%。  (外国産材) ・米材製材の12月の輸入量は0千 <sup>m</sup> で前月比0%、前年同月比0%。12月末港頭在荷量1千 <sup>m</sup> 3で前月比79%、前年同月比20%。	
	カラマツ	梱包材:定尺	工場渡	30,900	0		
	*ナラ	厚2.7cm×幅15cm上 長2.0m以上 板類1等	工場渡	206,000	0		
	スプルース(米材)	厚10.5cm×幅10.5cm 長3.65m 品等込 人工乾燥材	港頭オントラ	58,000	0		
合板	シナ	厚4mm 幅91cm×長 182cm 2類-1等	問屋着	960	0	・市況は保合。	
チップ原料材	カラマツ	形量・品等込	チップ工場着	5,900	0	・チップ原料材は保合。 ・チップは保合。	
	広葉樹	形量・品等込	チップ工場着	8,700	0		
チップ	カラマツ	山棒・剥皮	チップ工場サイロ下	7,200	0		
	広葉樹	山棒・剥皮	チップ工場サイロ下	9,700	0		

注1 前月差欄の△印は、値下がりを示す。

注2 価格欄の「-」は、調査項目の変更のため未調査であることを示す。

注3 外国産材の輸入動向数量関係は、北海道木材輸入懇話会資料による。

注4 四半期項目(樹種名の前に「\*」を表示)は、当該調査月から直近の調査価格と前期差を示す。

注5 毎年4月に調査対象企業の変更を行っているため、グラフの3～4月価格は接続しないて表示する。